

専門職大学院経営戦略研究科教授 研究科長

山本 昭二



2005年に開学した経営戦略研究科も4年目を迎えようとしており、すでに380名を超える修了生を出すに至っています。経営戦略専攻では、MBAを取得した学生が各企業で活躍しています。また、会計専門職専攻では、平成19年公認会計士試験で9名の合格者を出し、修了生の合格者数では全国のアカウンティングスクールで2位となりました。

これらの成果は、教員の努力と学生の真摯な学習への取り組みによって挙げられたものです。今回のIBAジャーナルでは、修了生の声を幅広く取り上げる試みをしております。本研究科での学びの成果が修了生自身の声で語られています。第一歩を踏み出した修了生の皆さんに心からエールを送りたいと思います。

今回の特集記事は、石原教授の研究グループが取り組んでいる行政改革に関する研究のうち、英国の自治体の事例の紹介と大内准教授を中心として行われた連続セミナーで取り上げられた女性のキャリア開発に関する寄稿と座談会を取り上げます。

どちらも、現代的でかつ重要なテーマです。私たちの生活の基盤である地方自治体のあり方は、経営の効率化、透明性をますます求められています。こうした実践に応えられる人材育成を目指して会計専門職専攻では地方自治体の職員の方々向けのコースを用意しています。

一方、女性のキャリア開発に関しては、様々なキャリアパスの中で子育てや職場での仕事の両立を中心に議論をしています。少子化とも関連して、これからの家庭、社会での重要な課題となるでしょう。

経営戦略研究科では、企業の経営に関する幅広い問題を取り上げていますが、その成果は企業の利益を高めることだけではなく、企業が社会においてより高次の成果を上げることができるようにすることにも利用されるものなのです。

私たちが直面する問題に正面から取り組むと共に修了生の皆さんに向けての二つの試みを始めようとしています。2007年10月からIBA研究フォーラムという在学生と修了生が交流できる場所をネットワークの上に開設しました。これから、研究フォーラムで展開される活動は、ネット上だけではなくリアルな場所でも交流を高めてくれると期待しています。

2008年4月からは経営戦略研究科に博士課程が開設され、今までとは異なる学生が入学してきます。博士号の取得を目指して継続して研究を行いたいという方々の期待に応えられるように努力を続けていきたいと思っています。

経営戦略研究科の発展は、多くの人々の助力によって支えられています。是非、皆さんの参加をお待ちしています。

2008年4月吉日